

HONDA

The Power of Dreams

「自由な移動の喜び」と 「豊かで持続可能な社会」の実現

Realizing “ the joy and freedom of mobility ” and
“ a sustainable society where people can enjoy life ”



BLUE SKIES FOR
OUR CHILDREN

Hondaグローバル環境シンボル

このビジョンには、パーソナルモビリティに関わる製品・サービスと暮らし全体を通して、お客様に感動を提供し続けるために、社会の永続的な発展と調和に貢献して行きたい、というHondaの強い想いが込められています。

- Hondaは製品のライフサイクル各段階(製品・企業活動)において
 - ・地球から新たに採取する化石エネルギー・資源使用の最小化を目指します。
 - ・温室効果ガスをはじめとする、あらゆる環境負荷の最小化を目指します。
 - ・あらゆる再生可能エネルギー利用の取り組みを推進していきます。
- Honda製品によって、モビリティと暮らし全体で排出する温室効果ガスのゼロ化を目指します。

Honda 環境性能基準 (HEPS: Honda Environmental Performance Standard)



2011年度HESP認定車種

※ 各モデルのポジションは性能値を表すものではありません。

化石燃料利用

多様なエネルギー利用

エネルギー管理

エネルギー技術の進化



- ・「気候変動・エネルギー問題」に対応するためには製品から排出されるCO₂排出低減が最も重要と考え、新たに2020年を目標年とした「2020年製品CO₂低減目標」を策定しました。
- ・2020年に向けては、これまでの方向性を継承しつつ、製品燃費・CO₂燃費規制の強化など社会の要請の高まりを受け、それに先駆ける低炭素技術の更なる革新と、その普及拡大を加速していきます。

2020年製品CO₂低減目標(2000年比)



四輪車



二輪車



汎用製品

Hondaの製品から
排出される
CO₂の全世界平均値

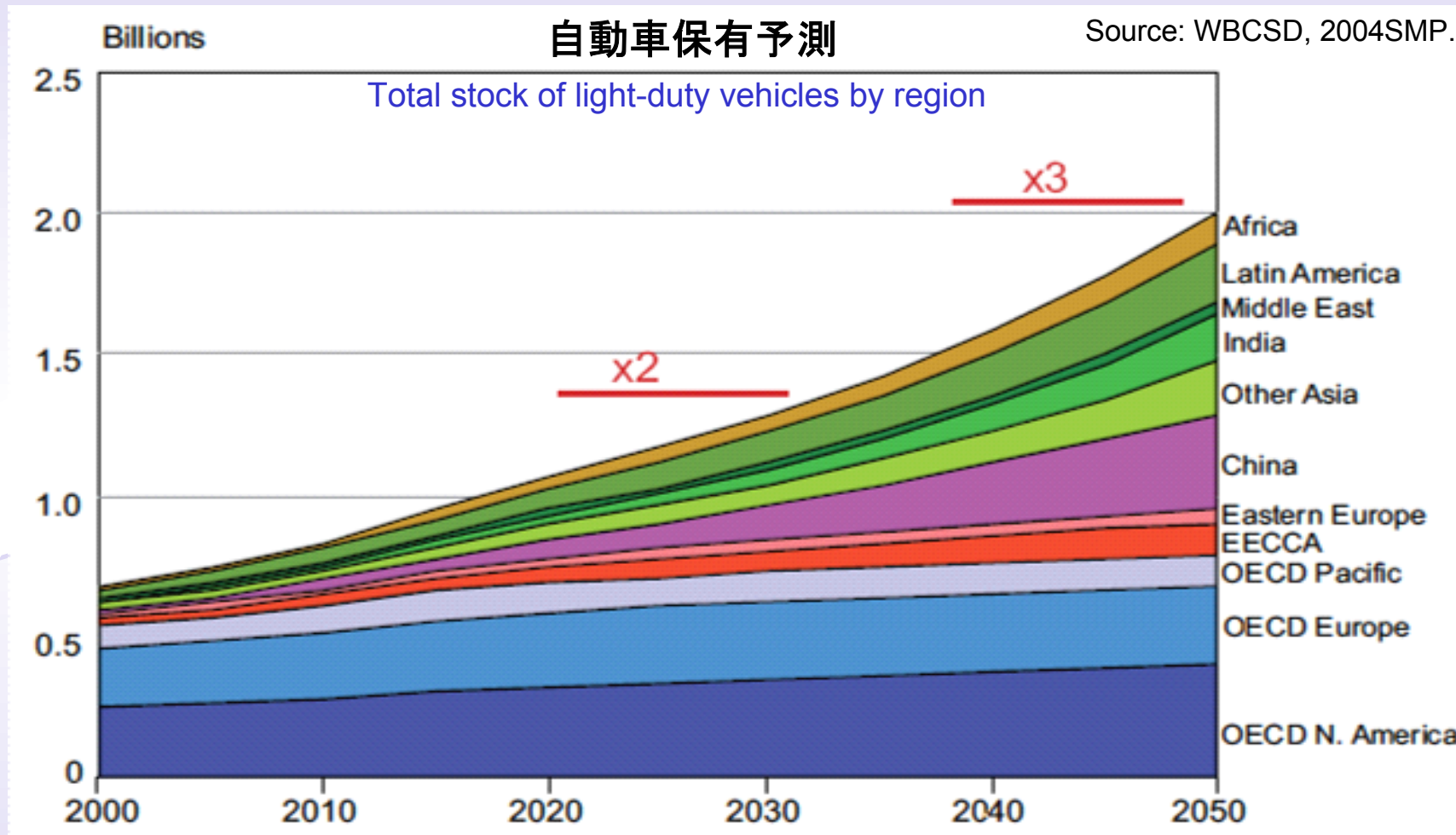
30%低減
g/km当たり

30%低減
g/km当たり

30%低減
kg/1時間当たり

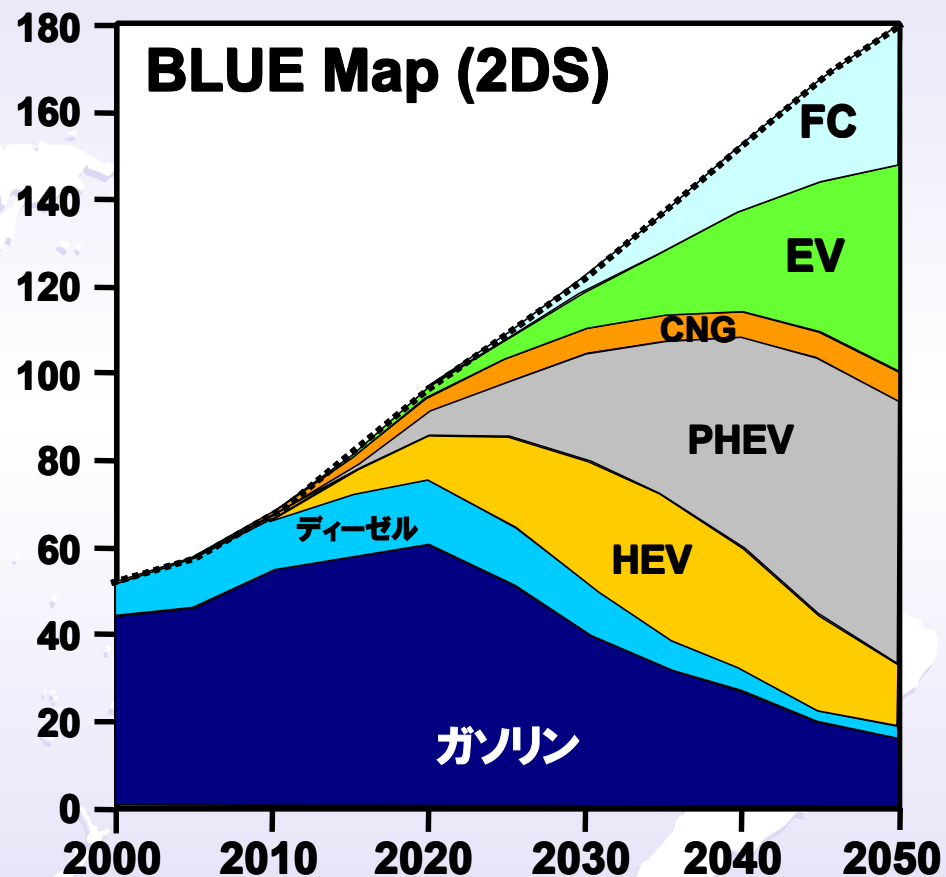
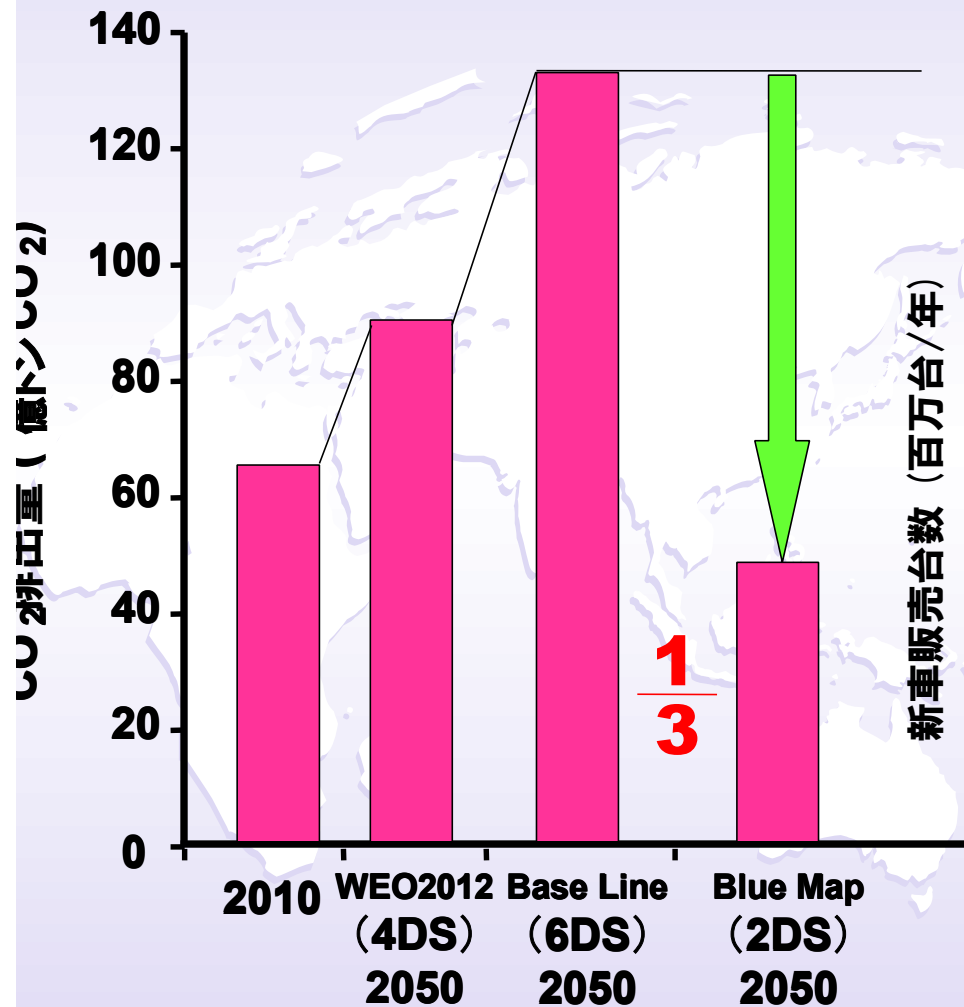
自動車産業を取り巻く課題





2030年までに13億台、2050年までに20億台に達する

途上国を中心とした経済発展が自動車の総数を増加させる



出典：ETP2012 (Energy Technology Perspectives 2010)

Honda環境技術で全包围網羅

電気自動車 (EV)



フィット EV

燃料電池電気自動車 (FC)



FCX クラリティ

プラグインハイブリッド自動車 (PHEV)



Accord Plug-in (米国仕様)

天然ガス自動車 (CNG)



Civic Natural Gas (米国仕様)

ガソリンエンジン自動車



N-ONE

ディーゼルエンジン自動車



CR-V (欧州仕様)

ハイブリッド自動車 (HEV)



CR-Z

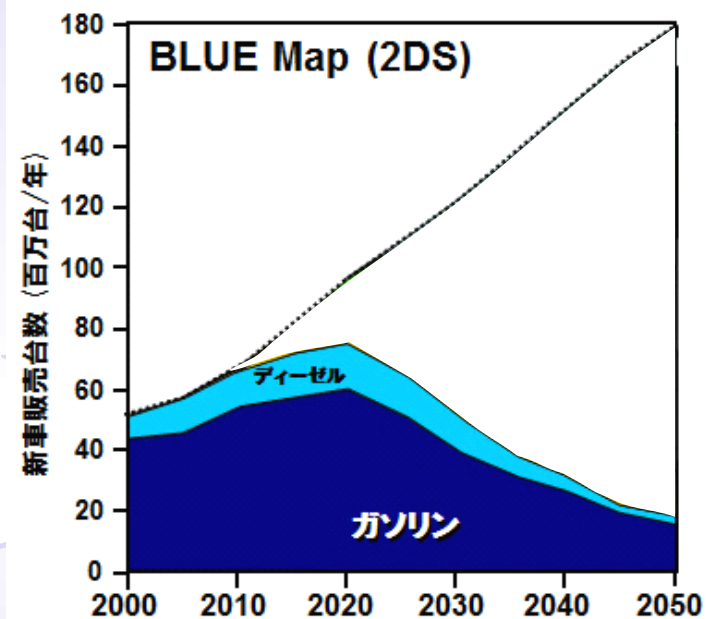
HONDA
The Power of Dreams

Hondaの自動車環境技術



BLUE SKIES FOR
OUR CHILDREN

Honda環境技術で全包围網羅



電気自動車 (EV)



フィット EV

燃料電池電気自動車 (FC)



FCX クラリティ

プラグインハイブリッド自動車 (PHEV)



Accord Plug-in (米国仕様)

天然ガス自動車 (CNG)



Civic Natural Gas (米国仕様)

ガソリンエンジン自動車



N-ONE

ディーゼルエンジン自動車



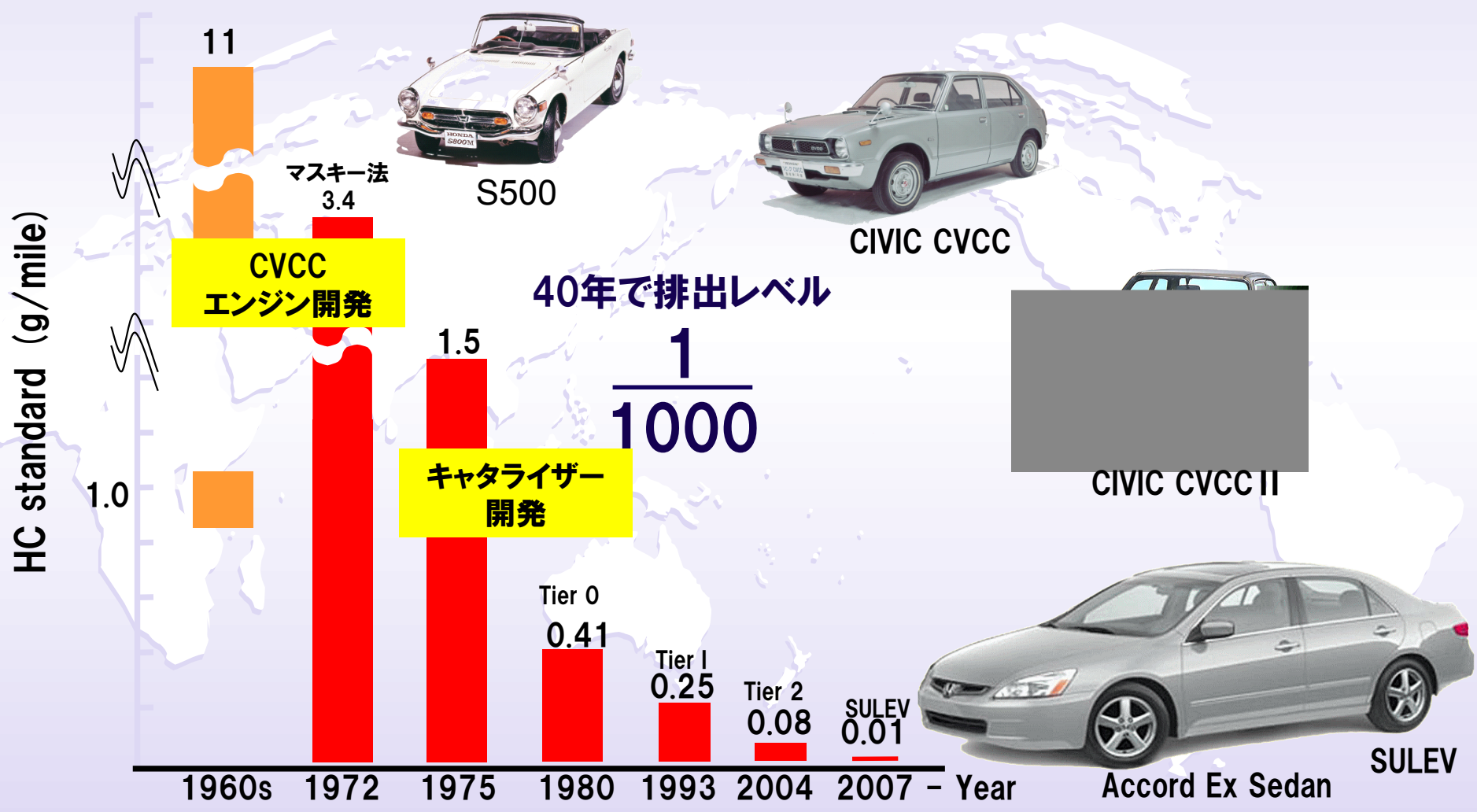
CR-V (欧州仕様)

ハイブリッド自動車 (HEV)



CR-Z

排出ガスは約1/1000レベルまで低減



EARTH DREAMS TECHNOLOGY

ガソリンエンジン

ディーゼルエンジン



新開発 エンジン・トランスミッション

CVT

多段ミッション



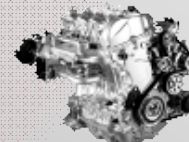
V6 可変気筒停止
(VCM)



6AT



i-DTEC



i-VTEC I
リーンバーン直噴



i-CTDi



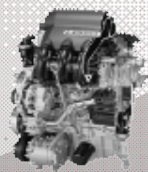
i-VTEC



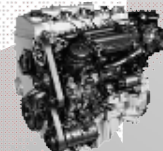
5AT



i-DSI



CVT

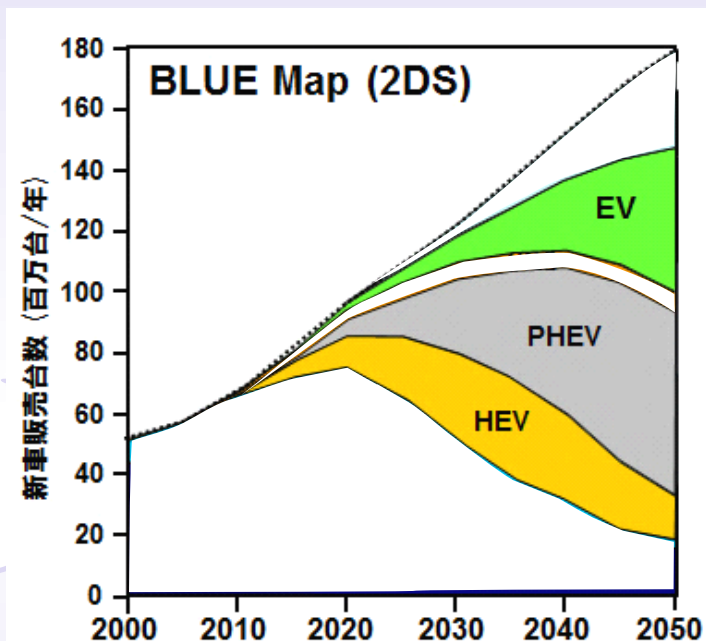


Fun

Efficiency



Honda環境技術で全包围網羅



電気自動車 (EV)



フィット EV

燃料電池電気自動車 (FC)



FCX クラリティ

プラグインハイブリッド自動車 (PHEV)



Accord Plug-in (米国仕様)

天然ガス自動車 (CNG)



Civic Natural Gas (米国仕様)

ガソリンエンジン自動車



N-ONE

ディーゼルエンジン自動車



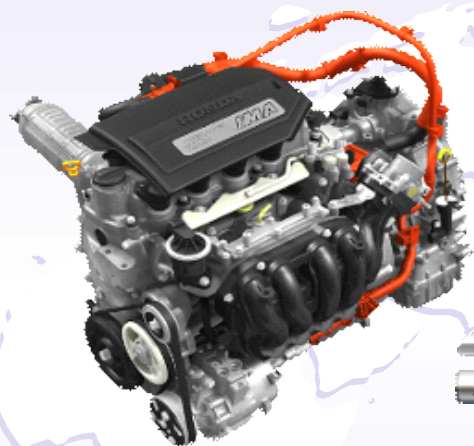
CR-V (欧州仕様)

ハイブリッド自動車 (HEV)



CR-Z

ハイブリッド技術



 **PLUG-IN
HYBRID**



SPORT HYBRID
Intelligent Multi
Mode Drive
Plug-in

FIT



CR-Z



SPORTS HEV

INSIGHT



IMAの進化

・低価格で拡販

**CIVIC
HYBRID**



**ACCORD
HYBRID**



IMAの拡大

- ・実用セダンへの搭載
- ・クラストップの低燃費

**CIVIC
Hybrid**



INTEGRATED
MOTOR
ASSIST

IMA

Insight



IMAテクノロジーの導入

- ・世界一の低燃費
- ・低燃費技術の追求

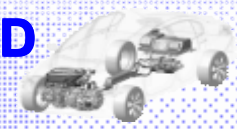
**ガソリンエンジン
技術**

EARTH DREAMS TECHNOLOGY

Fun

SPORT HYBRID SH-AWD

新開発 2モーターハイブリッド



バッテリーEV



CR-Z



FREED Spike



FREED



ACCORD



FIT SHUTTLE



FIT



CIVIC



初代 INSIGHT

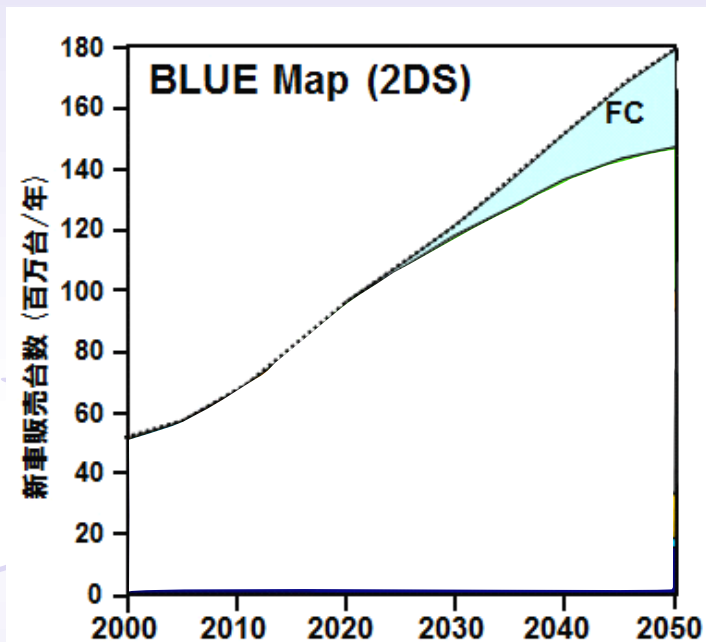


新型 INSIGHT

Efficiency



Honda環境技術で全包围網羅



電気自動車 (EV)



フィット EV

燃料電池電気自動車 (FC)



FCX クラリティ

プラグインハイブリッド自動車 (PHEV)



Accord Plug-in (米国仕様)

天然ガス自動車 (CNG)



Civic Natural Gas (米国仕様)

ガソリンエンジン自動車



N-ONE

ディーゼルエンジン自動車



CR-V (欧州仕様)

ハイブリッド自動車 (HEV)



CR-Z

1980s

1995

2000

2002

2004

2006

2008

2010

基礎研究

FCX- V1, V2 V3 V4

FCX CLARITY

FCV
(Fuel Cell Vehicle)



純水素FCV
(水素吸蔵合金)

純水素FCV(高圧水素タンク)



メタノール改質
FCV

公道試験走行

リース販売

FCX Clarity

相互応用技術

→ モーター
技術



EV-PLUS (電気自動車)



→ 高圧
タンク技術



CIVIC-GX (圧縮天然ガス自動車)



→ エネルギー
マネジメント技術



INSIGHT



02 CIVIC Hybrid



06 CIVIC Hybrid



**INSIGHT
Accord
Plug-in**

市場導入と水素供給インフラ整備に両脚を



2013年に日本で実証実験開始

新型
パーソナルモビリティ
フィット EV

2015年から順次日米欧で販売

新型
燃料電池電気自動車

2013年に日本で実証実験開始

超小型EV
マイクロコンピューター
プロトタイプ

多様な電動技術の進化と普及を目指す



将来の水素社会実現を目指し、Hondaの高圧水電解技術を生かしたソーラー水素ステーションと大容量発電機を持つFCVを組み合わせ、CO2排出ゼロを目指していきます。



2012年3月27日 埼玉県庁敷地内に設置
オープニングセレモニーを行いました。





外部給電方法



- 可搬型インバータボックスを使って、最大9kWの外部給電が可能
- 給電能力は9kW連続7時間以上あり、一般家庭使用電力約6日分に相当



まとめ



2020年ビジネスの方向性

「良いものを、早く、安く、低炭素」でお客様にお届けする

Honda環境ビジョン

「自由な移動の喜び」と「豊かで持続可能な社会」の実現

次世代のために、今できること。

これからすべきこと。

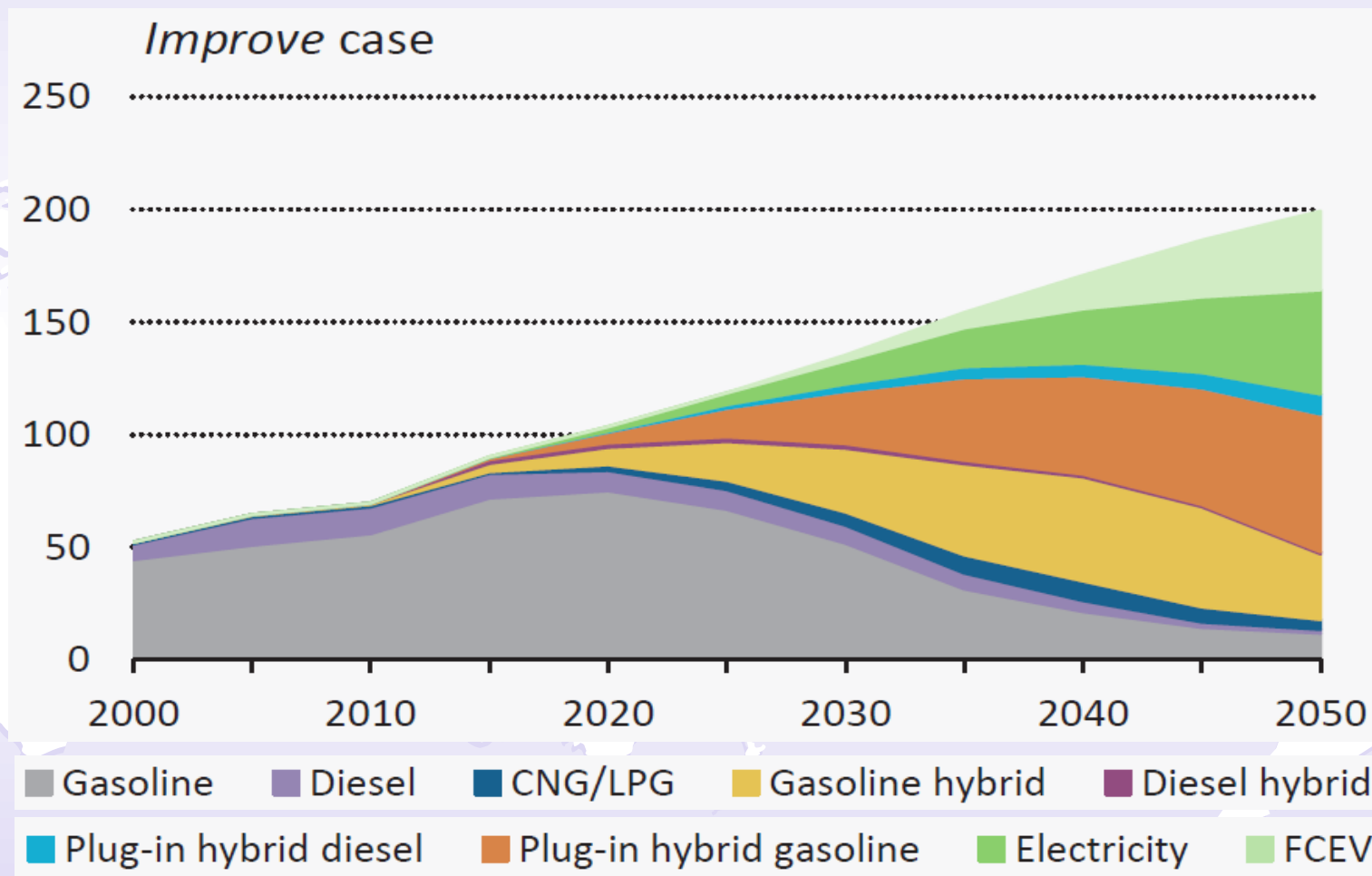
Hondaは常に考え、積極的に行動していきます。



BLUE SKIES FOR
OUR CHILDREN

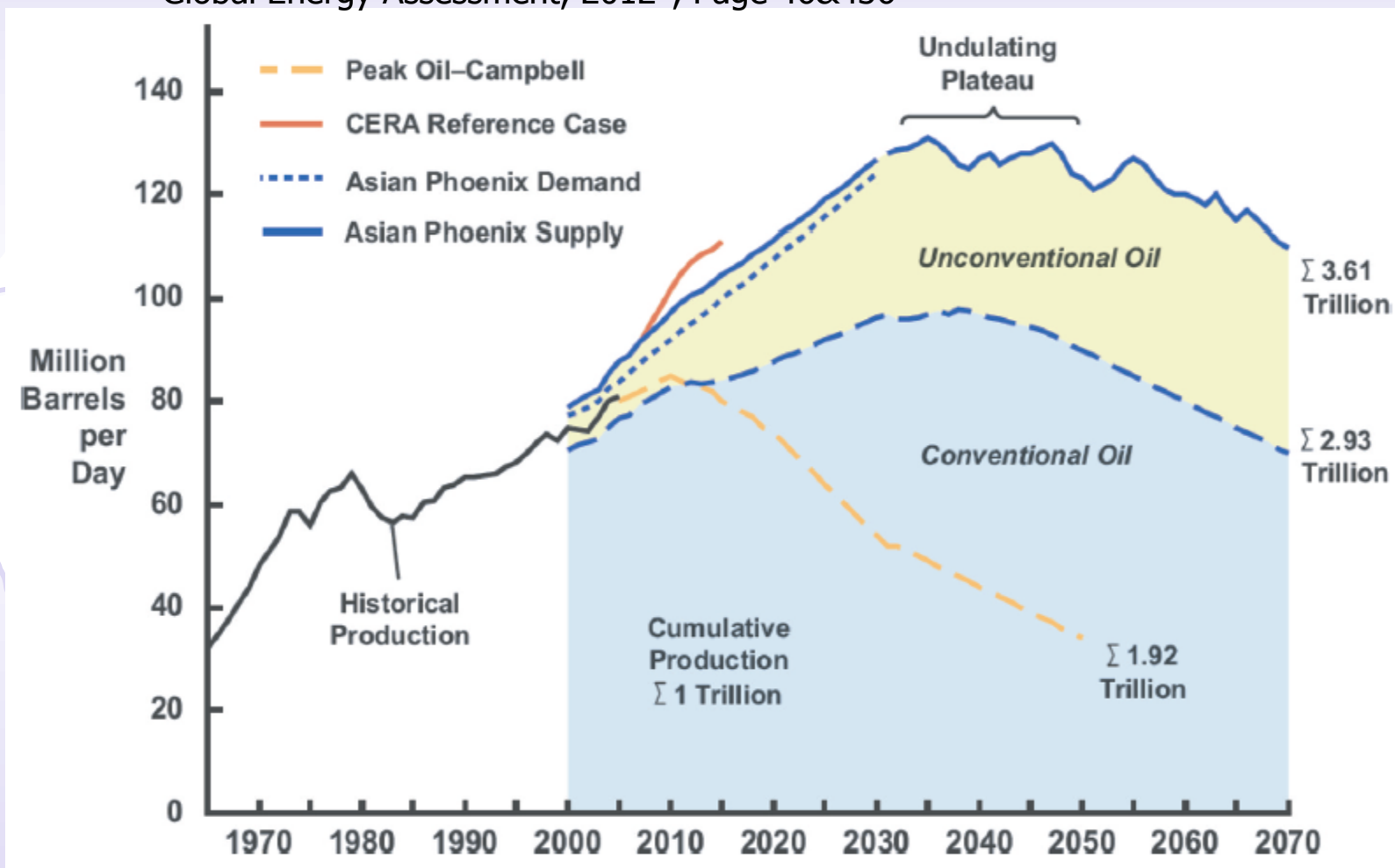


出典: IEA (International Energy Agency)
"Energy Technology Perspectives 2012", Page 443

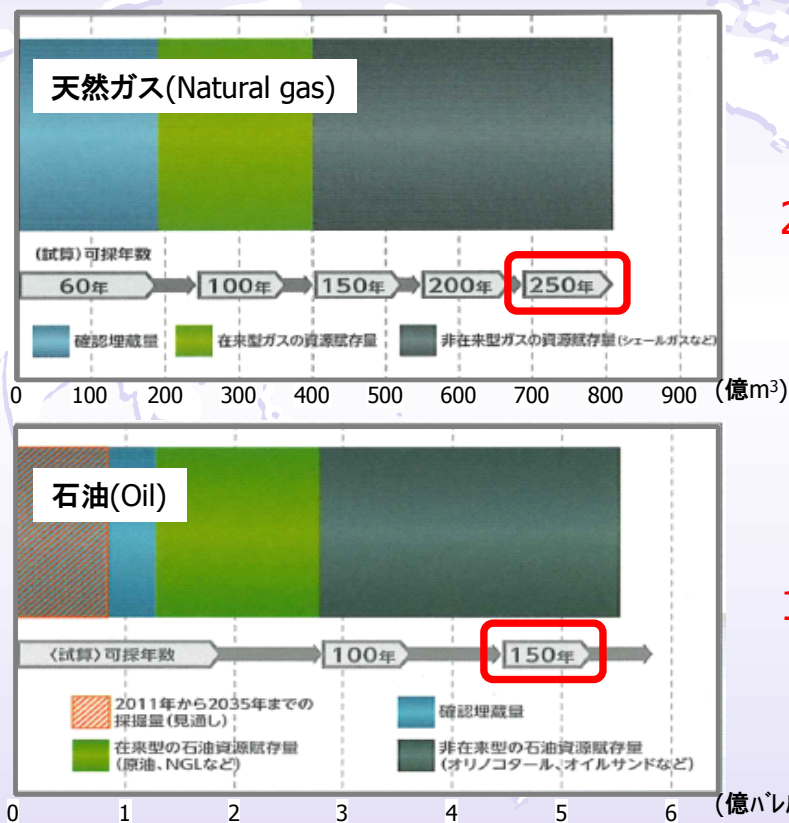




出典: IIASA(International Institute for Applied Systems Analysis)
"Global Energy Assessment, 2012", Page 46&436



出典：第17回「21世紀のエネルギーを考えるシンポジウム」2012年11月6日
JX日鉱日石配布資料



60y
↓
250y

45y
↓
150y



IEA : Energy Technology Perspectives 2012

Please note that this publication
is subject to specific restrictions
that limit its use and distribution.

The terms and conditions are available
online at www.iea.org/about/copyright.asp

本書は、使用および配布を限定する特定の制限の対象となりますので
ご了承ください。契約条件は
<http://www.iea.org/termsandconditionsuseandcopyright/>からオンラインで
入手できます。

IIASA * Global Energy Assessment, 2012

© International Institute for Applied Systems Analysis 2012

This publication is in copyright. Subject to statutory exception
and to the provisions of relevant collective licensing agreements,
no reproduction of any part may take place without the written
permission of the International Institute for Applied Systems Analysis.

本書には著作権があります。法的な例外と関連する集团的ライセンス
契約の規定の対象であり、いずれの部分の複製は国際応用システム
分析研究所の書面による許可なしに行われることはできません。